

令和5年9月8日

保護者様

横浜市立岡津中学校  
校長 相澤 順

## 全国学力・学習状況調査 結果報告

清秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご支援をいただき感謝申し上げます。3年生対象となっている本年度の「全国学力状況調査」の本校の結果および、報告・分析についてお知らせいたします。個人票（個人結果）は本日、担任から生徒本人へ返却済みですので、あわせてご確認をお願いいたします。

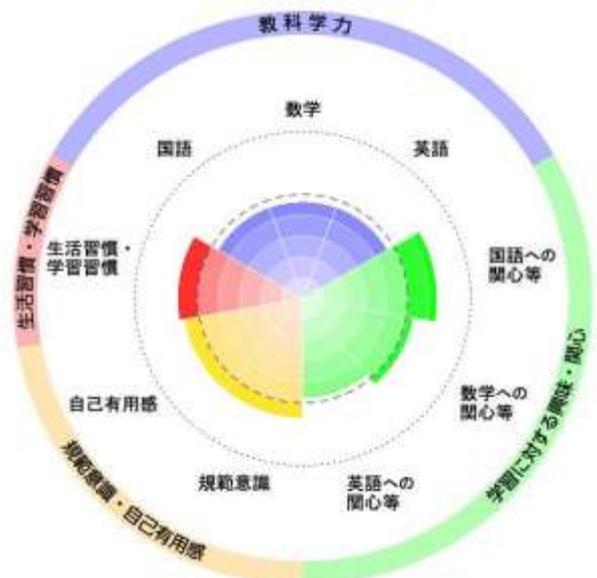
実施日時 令和5年4月18日（火）  
実施教科 国語・数学・英語（・生徒質問用紙）  
個人票返却期間 令和5年9月8日（金）

国語	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立岡津中学校	234	10.0 / 15	67	11.0	3.5
神奈川県（公立）	60,261	10.4 / 15	70	11.0	3.4
全国（公立）	892,738	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4
数学	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立岡津中学校	235	7.2 / 15	48	7.0	4.1
神奈川県（公立）	60,302	7.8 / 15	52	8.0	3.9
全国（公立）	893,114	7.6 / 15	51.0	8.0	3.9
英語	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立岡津中学校	234	7.8 / 17	46	8.0	4.4
神奈川県（公立）	60,318	8.6 / 17	50	8.0	4.3
全国（公立）	893,528	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2

生徒質問紙(全国基準)



生徒質問紙(神奈川県基準)



## 【全体総括】

全ての教科で全国・神奈川県 averages を下回る結果となり今後の改善をはかる上で、詳細を分析し指導の参考にしていきます（教科別の詳細は下段参照）。一方で、質問用紙の結果から「生活習慣・学習習慣」は全国・神奈川県平均よりも高い水準を示しています。このような結果から、学習の姿勢や習慣が十分に備わっていると考え、より一層、思考力・理解力が高まる授業展開や教科指導に努めていきます。

また、今回の調査外の教科についても、今回の傾向を分析し、生徒にとって有効な手立てや支援を工夫しつつ、各教科の授業改善や日々の教育活動にも生かしていきたいと考えます。

## 【国語科】全国学力状況調査分析

全国・神奈川県平均と比較すると、平均を下回る結果となっています。

観点別の結果を比較した際、知識及び技能の「我が国の言語文化に関する事項」と、思考判断表現の「書くこと」に課題がみられました。以上の点から授業内の活動では、古典に触れる機会を増やし、そこから興味関心を抱かせる知識の習得を図ります。「書くこと」においては、本校で行っている定期試験でも正答率が低く課題となっています。問われていることを正確に理解することのみならず、自らの考えを文字で伝えることにも取り組んでいきます。

## 【数学科】全国学力状況調査分析

全国・神奈川県平均と比較すると、平均を下回る結果となっています。

特に本校の場合は、「思考・判断・表現」に大きな課題がみられ、「知識・技能」の観点と14%の乖離があり、自分の考えを表現することを苦手としていることがわかります。

以上の分析から、数学の基礎・基本である計算問題に多く取り組み、基礎力を高めつつ数学的思考力を問うような課題に取り組ませていきます。また、1学年ではTT（チームティーチング）、3学年では少人数授業を取り入れて、生徒が主体的に取り組むやすい環境の下、指導改善に努めてまいります。

## 【英語】全国学力状況調査分析

全国平均と比較すると、ほぼ同程度の結果となっています。

観点別の結果を比較した際、「思考・判断・表現」は全国平均よりもわずかに上回っているものの、「知識・技能」の観点が全国平均を下回っています。「話すこと」に関しても、意図が伝わる上では支障がないミスはあるものの、全国平均と比較し積極的に解答しようとする様子が伺えました。

以上のことから、今まで同様に意欲的に表現しようとする姿勢を育むべく、言語活動を中心とした授業展開をしつつも、正確な知識をより確実に定着させることを目指します。その上で更に表現力を磨いていけるよう、ICTをより一層活用し、生徒自ら自分に合った学習方法を選択しながら、ねばり強く取り組むよう促します。

英語「話すこと」調査	生徒数	平均正答数*	平均正答率(%)*
横浜市立岡津中学校	204	0.7 / 5	15
全国（国公私立）	814,666	0.6 / 5	12.4